

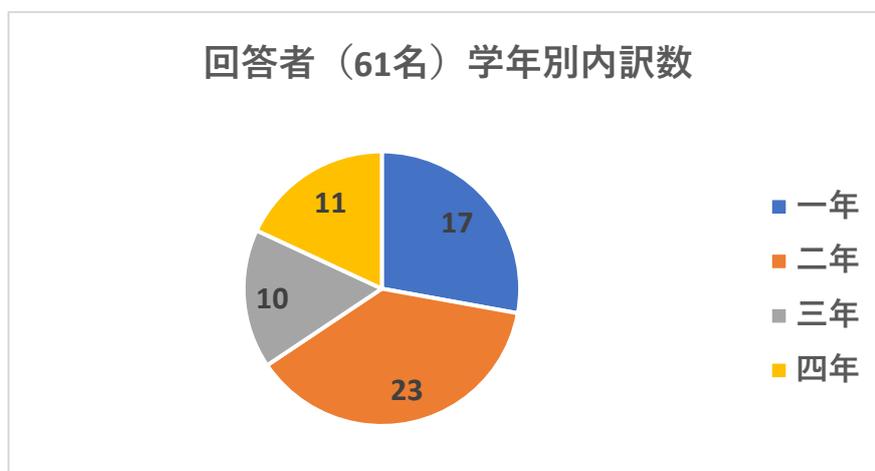
I. 講演会

1, 聴講者の概要

7月14日の講演会のアンケート回答者61名（男性30名、女性31名）の結果を以下に示す。アンケート提出率（回答/参加）は97%（61/63）。

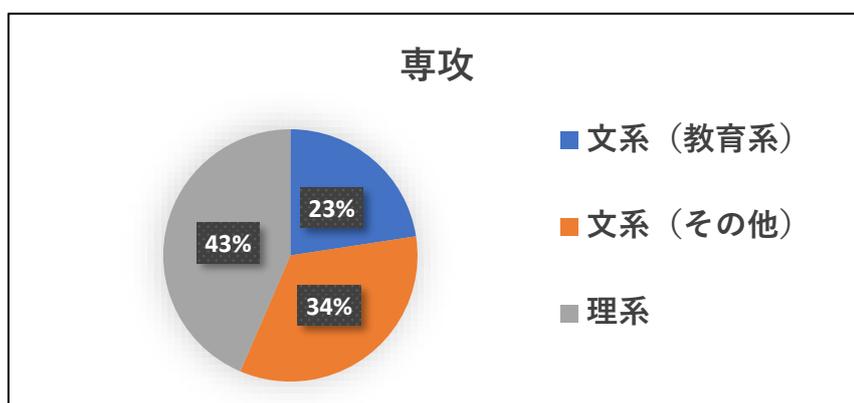
1) 学年

- ・ 1年生
- ・ 2年生
- ・ 3年生
- ・ 4年生



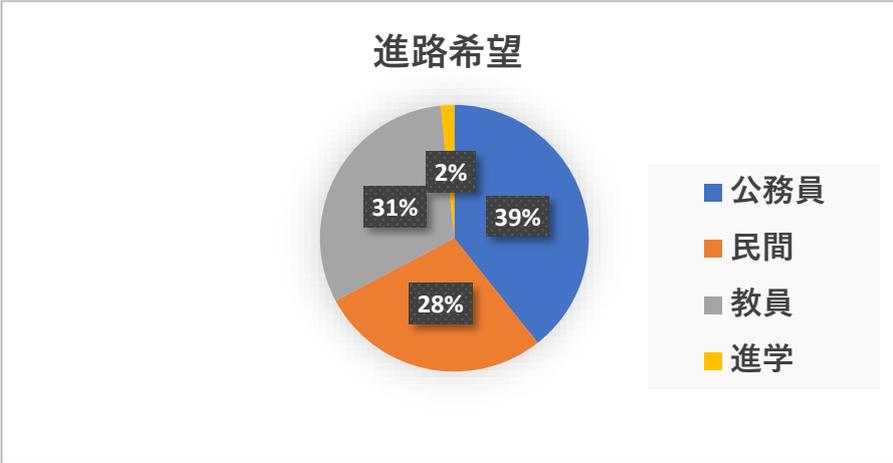
専攻

- ・ 理系
- ・ 文系（教育系）
- ・ 文系（その他）



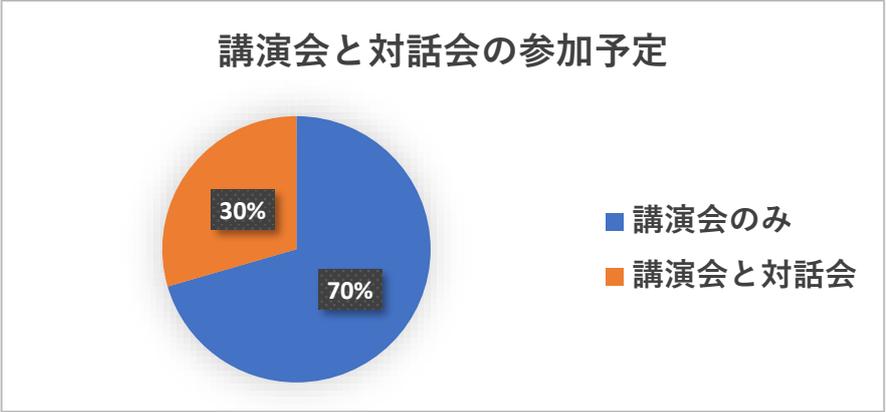
2) 進路希望（就職、進学）

- ・ 教員
- ・ 民間企業
- ・ 公務員（国、地方自治体、公共団体等）
- ・ 研究機関等
- ・ 大学院進学
- ・ その他



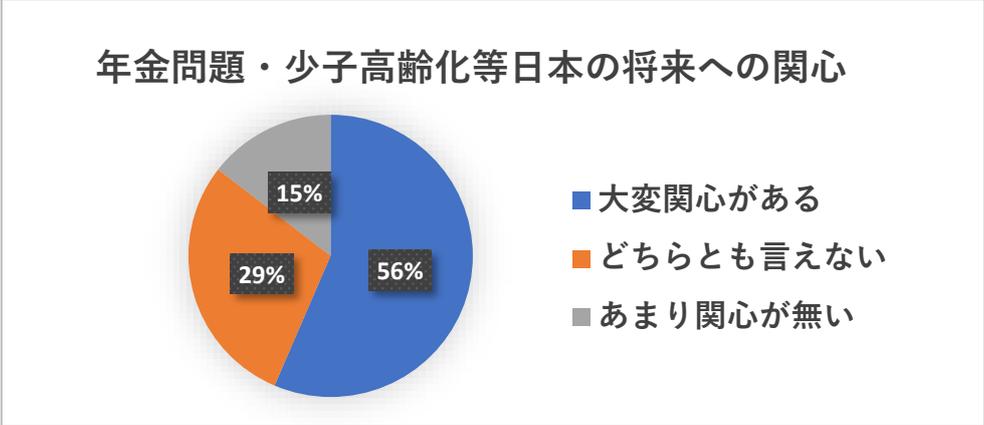
3) 参加する項目

- ・ 講演会だけ
- ・ 講演会と対話会

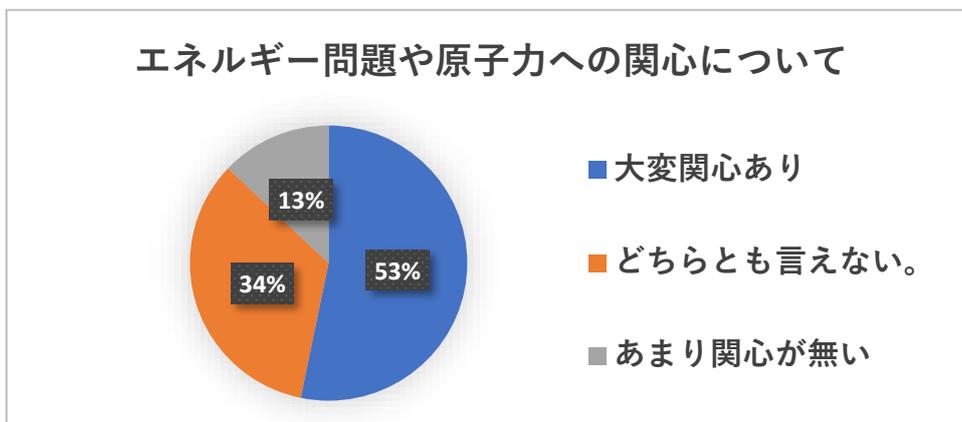


4) 日本や世界の出来事への関心について

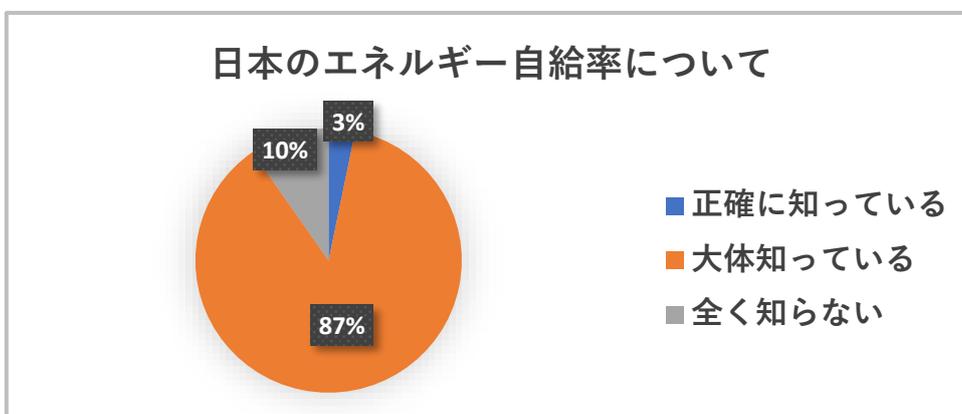
- a) 年金問題、少子高齢化等日本の将来への関心について



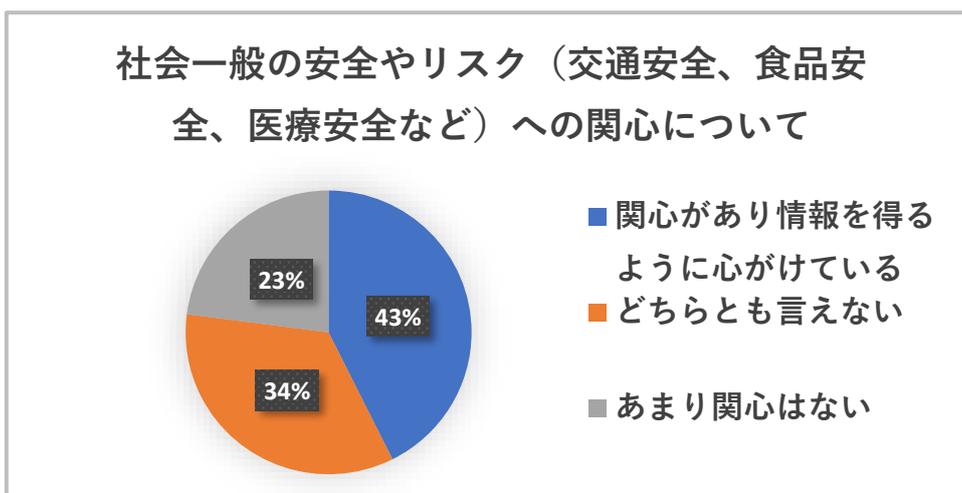
b) エネルギー問題や原子力への関心について



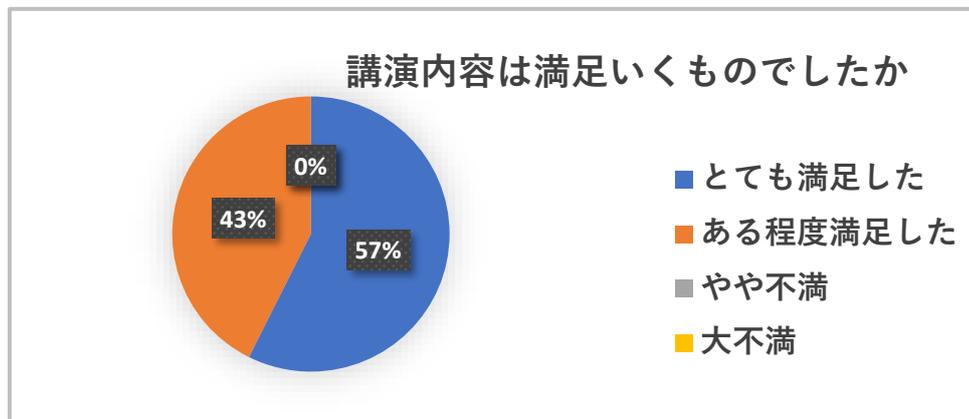
c) 日本のエネルギー自給率について



d) 社会一般の安全やリスク（交通安全、食品安全、医療安全など）への関心について



5) 講演の内容は満足いくものでしたか



6) その理由

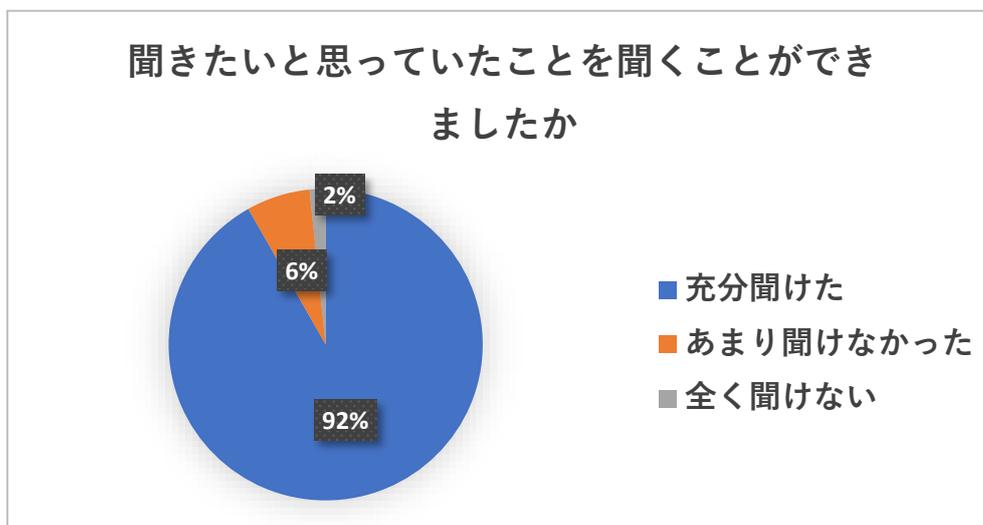
①とても満足したと答えたグループの主な意見

- ・前回出たカーボンニュートラルについて詳しく知ることができた。より専門的なお話を聞くことができた。
- ・今まで概要だけ教わってきたことをより深く、様々な事象が絡み合った観点から学ぶことが出来た。
- ・資料がとても充実していて、見やすかった。
- ・カーボンニュートラルを実現するための方法を具体的に教えてくださった。また、以前から気になっていた地球温暖化の主要因が二酸化炭素であることへの懐疑性についても述べられていたことが強く印象に残った。
- ・自分でただ調べることは比べ物にならないほどの身になる貴重な話を聞くことができた。

②ある程度満足したと回答したグループの主な意見

- ・国が掲げている将来の目標について理解したが、目標達成が不可能であるように思った。さらに、代替案として原子力発電所を再稼働・増設する際、実働に向けて原子力に対する世論は厳しく八方塞がりのように感じた。すぐに世論は変化しないが、現在の安定を求めるのではなく、将来に向けて原子力発電所を再稼働・増設するために国による原子力への偏見をなくすことがソフト面での実働として必要だと理解することができた
- ・エネルギー問題に対して、日本の現状や政府の取り組みなども紹介していただき、実感が持てたから。企業の具体的な取り組みなどにも興味が沸いた。
- ・現在のエネルギー政策に関して、非常に多知識で、カーボンニュートラルについて賛否両面から紹介しており、深いものであった。
- ・原子力の発電の否定側のお話を聞くことが多かったが、その中でプラスな要素を実感することができた。
- ・関心がるでなかったことに少しだけ興味がわく面白い講演だった。

7) 講演会で聞きたいと思っていたことを聞くことができましたか



注)「全く聞けなかった」と回答頂いた1名(2%)の方も「満足行くものだったか」の質問に対しては「とても満足している」と回答とされている。理由には、「カーボンニュートラルについて興味を持っていたため、そのことについての話や、化石燃料と再生可能エネルギーの二酸化炭素排出量の比較などから、カーボンニュートラルについて深い知見を得ることができたと感じた」と記載されている。

2. アンケート結果

聴講者61名の特性は、男女の比率がほぼ半々、学年は1年と2年がほぼ65%であり、全体として文系の専攻が57%、理系が43%であった。進路は公務員と教員が70%、民間企業が28%、進学が2%(1名)であった。

今回参加する項目は講演会のみ参加が70%、講演会と対話会の双方に参加予定者は30%であった。

日本や世界の出来事への関心に関する各項目についての回答は、以下の通り。

a) 年金問題、少子高齢化等日本の将来への関心について。

- ・大変関心がある。 56%
- ・あまり関心が無い。 15%
- ・どちらとも言えない。 29%

b) エネルギー問題や原子力への関心について

- ・正確に知っている 3%
- ・大体知っている 87%
- ・全く知らない 10%

d) 社会一般の安全やリスク（交通安全、食品安全、医療安全など）への関心について

- | | |
|----------------------|-----|
| ・関心があり情報を得るように心がけている | 43% |
| ・あまり関心がない | 23% |
| ・どちらとも言えない | 34% |

講演の内容は満足いくものでしたか？に関しては。

「とても満足した」57%、「ある程度満足した」43%で合計100%。「やや不満」、「大不満」とした回答はなかった。

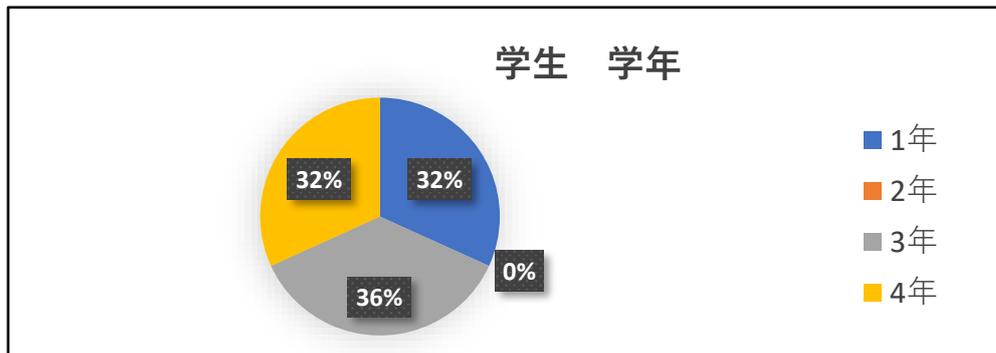
ある程度満足まで含めて、満足の理由として、カーボンニュートラルに関して、どの様なもので、そのために具体的に何をしようとしているかについて資料が判りやすかった。更に原子力の発電の否定側の話を聞くことが多かったが、その中でプラスな要素を実感することができた。などの理由が出ていた。また、関心がまるでなかったことに少しだけ興味がわく面白い講演だったとの記載もあり、理解と関心が得られたと考えられる。

II. 対話会

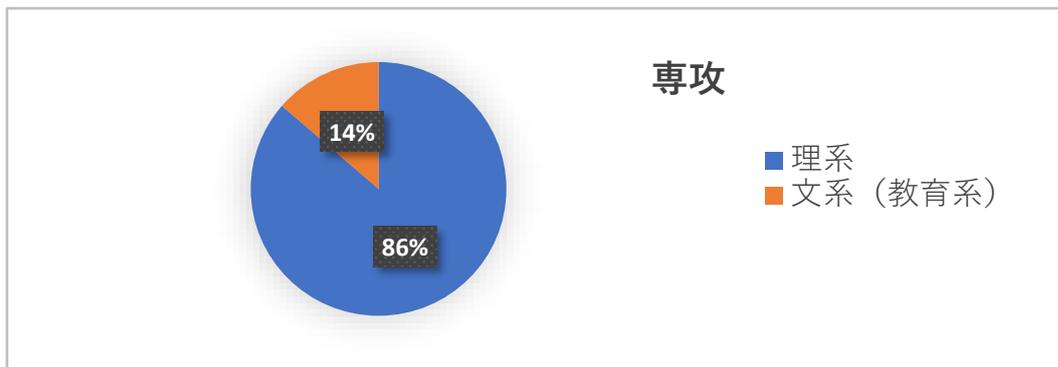
1. 学生対話会参加者の概要

7月28日に実施した学生対話会のアンケート回答者22名（男性11名、女性11名）の結果を円グラフに示す。アンケート提出率（回答/参加）は96%（22/23）。

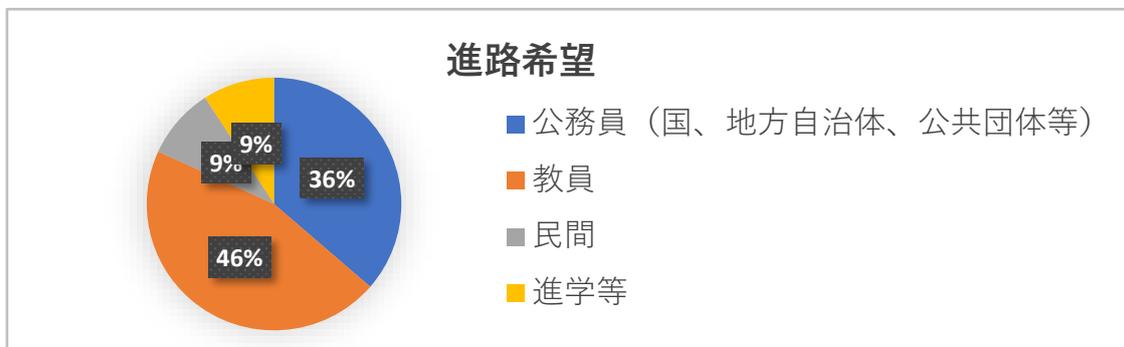
1) 学年：1年7名、2年0名、3年8名、4年7名



2) 専攻：理系19名、文系（教育系）3名



3) 進路希望：公務員8名、教員10名、民間2名、進学等2名



- ・民間2名（9%）の職種内訳：事務系1名、未定1名
- ・進学等2名（9%）の内訳：専門学校1名、教員と大学院進学で検討中1名

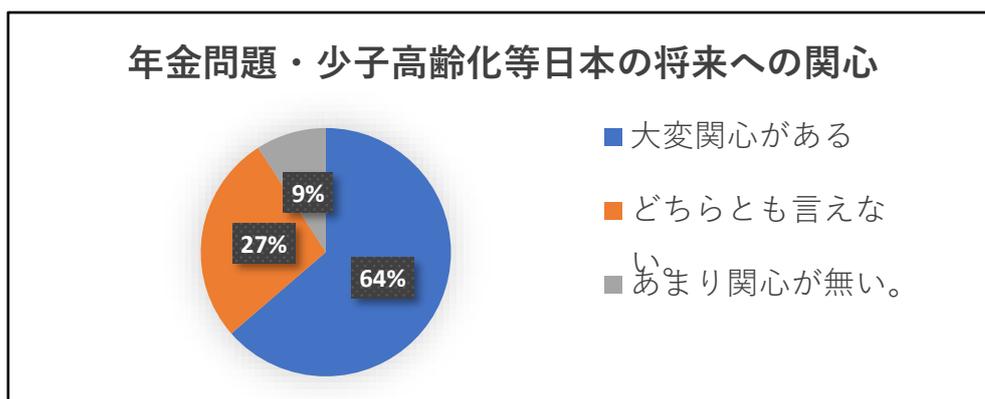
4) 参加した項目（人数）



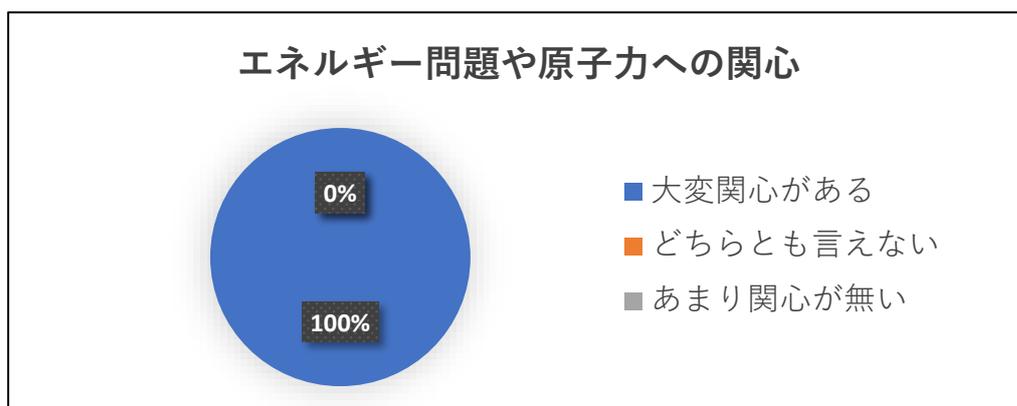
5) 日本や世界の出来事への関心について

①年金問題・少子高齢化等日本の将来：

大変関心あり 14 名、どちらとも言えない 6 名、あまり関心が無い 2 名



②エネルギー問題や原子力への関心；大変関心あり 22 名



③日本のエネルギー自給率について；

正確の知っている 1 名、 大体知っている 21 名

日本のエネルギー自給率について



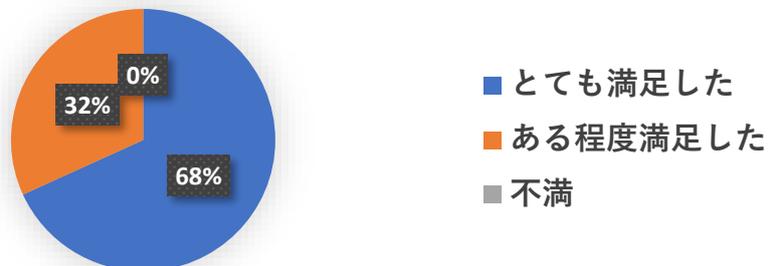
④社会一般の安全やリスク（交通安全、食品安全、医療安全など）への関心：関心があり情報を得る様に心がけている14名、どちらとも言えない7名、あまり関心が無い1名

社会一般の安全やリスク（交通安全、食品安全、医療安全など）への関心



2. 対話会の内容は満足 of いくものでしたか：とても満足した15名、ある程度満足した7名、不満0名

対話会の満足度



理由：

1) とても満足したと回答した方の意見概要

・学生間の意見交流があり、SNWから貴重な意見を聞くことが出来た。視野が広がった

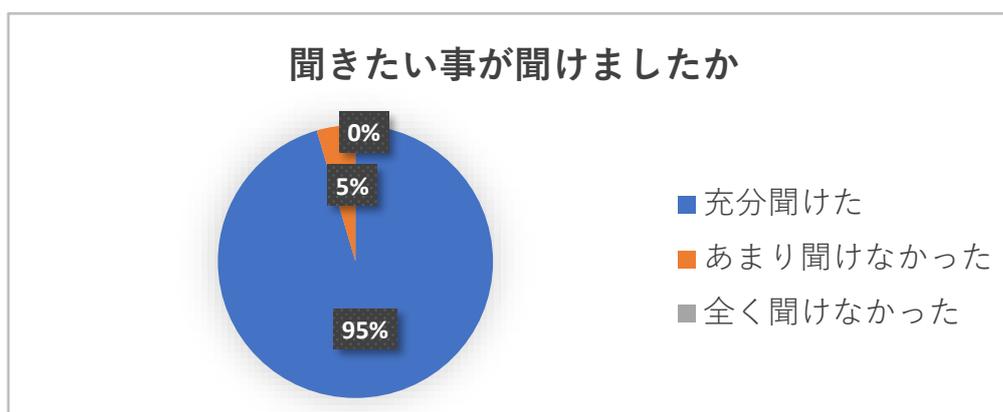
様に思えた。

- ・普段、ただ勉強するだけでは知りえないような、実際に現場で働いていた方々の具体的な意見などをお聞きしながら対話活動に臨めた。
- ・正確に回答してくださり、自分としても新たな考え方を学ぶことが出来た。
- ・直接質問に対する回答を丁寧に頂けて、自分の理解が深まったから。また、1つの間に複数の人と意見を交わすことができ、多様な考え方を知ることが出来たから。専門家の方から色々なお話を聞いて嬉しかった。
- ・原子力に対する知見を深めることが出来た。
- ・とても細かく、加えてわかりやすい内容だった。

2) ある程度満足したと回答した方の意見概要

- ・時間に追われながらだったので、一部飛ばすなど、すべてできたわけではなかった。
- ・交流内容をまとめる時間が少なく、混乱したためである。グループ全体で、話し合った内容の確認も踏まえ、もう少し時間をかけて整理する時間があるほうが、より知識の定着につながると思う。今回は、みな焦って資料を作成し、何が何だかわからない状態になっていたように感じる。
- ・学生側から質問をした際に、回答とともに逆質問という形で自分の意見を発信できるような形式をとってくださったため、課題に対し深く考えることができた。
- ・質問はとても詳しく聞けてとても勉強になった。発表をまとめる時間があまりなかった。
- ・自分が抱えていた疑問に対し、非常に詳細な説明をもとに回答していただけた。しかし、都合上追加の質問に時間を割くことができなかつたので時間配分にこちら側を含めて気を遣うべきであったと思う。

3. 対話会で聞きたいと思っていて聞くことができましたか。; 充分聞けた 21 名、あまり聞けなかった 1 名、全く聞けなかった 0 名。



1) 聞けなかったこと、聞き足りなかったことは何ですか？

主なコメントを以下に示す。

①あまり聞けなかったと回答した方

- ・SNWの方々からの逆質問をもとに学生の意見交流が行われ、逆質問は全部で5つあ

ったのですが時間の都合で 3 つしかできなかつたため他の逆質問での意見交流もしたかった。また、今回は時間の関係で学生一人一人の意見を聞くだけで終わってしまったので意見を踏まえた上で SNW の方々の意見や討論を聞きたかった。

②充分聞くことが出来たと回答した方

- ・電気自動車（EV）が今後増えていくのだとすれば現在ディーゼル車の普及率が高い北海道の場合、電気自動車の受け入れに時間がかかるのではないか。

4. 今回のアンケート結果について

- ・今回参加の学生の方々は 1 名を除き事前に実施した SNM 講演会の参加者で、希望進路の 8 割が公務員か教員であった。
- ・年金問題・少子高齢化等日本の将来、エネルギー問題や原子力への関心、日本のエネルギー自給率、社会一般の安全やリスク（交通安全、食品安全、医療安全など）への関心は 2/3 以上の方々が大いに関心を持っており、SNW の講演会とそれに先立つ講演会の内容を良く理解している事が窺われた。
- ・満足度に関しては、2/3 以上の方が満足と回答されており、学生間の意見交換や SNW との多様な考え方に触れ、視野が広がったとの意見等が理由として挙げられていた。
- ・残りの 1/3 の方からは、意見交換、結果の纏め等の時間が短かったとの意見があった。事前に一度 30 分程度 Gr 内で質問内容の確認と報告に関する分担を調整する事が可能であれば、よりスムーズに運営が可能になると思われた。
- ・聞きたいと思っていたことについては、95%に方が充分聞けたと回答しているが、5%（1名）の方から、時間が短かく、充分意見や討論が聞けなかったという意見があった。

また、北海道の地理条件と EV の適合性に関するコメントがあったが、EV の様な新技術の適用がどの様に行われるかに立ち会えるのは、滅多に出会えるものではない。適用目標期限がどの様に設定され、実際どの程度受け入れ時間がかかるかは興味深く、今後注視すべき事象と思われる。